

みやまで育った仲間と共に



1月12日、MIYAMAXで二十歳のつどいが行われ、約300人が参加しました。参加者を代表し樺嶋空波さんが「この素晴らしいみやまの地で育ったことを誇りに思います。ひとつだけここに約束してください。ひとりひとりが幸せになることを」と誓いの言葉を述べました。

線香花火を軸に広がるまちづくり



1月15日、筒井時正玩具花火製造所の筒井良太さん、今日子さんが、JR九州が主催する「九州観光まちづくりAWARD2024 ものづくり部門」での金賞受賞を報告しました。線香花火を軸とした、米づくりや宿の運営などによるまちづくりの取り組みが評価されました。

織田信長らを魅了した舞



1月20日、大江天満神社で幸若舞(国指定重要無形民俗文化財)が奉納されました。今年は「演出」、「日本記」、「八島」、「安宅(下)」、「夜討曾我(上)」が上演。織田信長や豊臣秀吉、徳川家康などが愛した舞が、訪れた観客を魅了しました。

息の合った訓練の成果を披露



1月11日、市消防出初式が消防本部屋外訓練場で開催され、消防団員など約700人が参加しました。二川・江浦・開分団合同での小隊訓練や水上分団によるポンプ車操法が行われ、日頃の訓練の成果を披露しました。

江浦町に伝わる奇祭



1月12日、臼かぶり(うすかぶり)が淀姫神社で行われました。高田町江浦町二の丸・吉原地区に伝わる伝統行事で、水の入った木臼を投げ飛ばして無病息災・五穀豊穰・火災除けを祈願。締め込み姿の男性が木臼を豪快に投げ飛ばすと、観客からは大きな歓声があがりました。

暴力団根絶に向けて一致団結



1月18日、みやま市・柳川市暴力団追放総決起大会がまいピア高田で開催され、両市の安全・安心まちづくり推進協議会関係者や市民など約350人が参加しました。大会では参加者全員で暴力団追放のシュプレヒコールを行い、暴力団追放への気運を高めました。



豊かな地球を子どもたちに引き継ぐ

環境政策課 (TEL64-1521)

生ごみ分別アワード2024

環境衛生組合連合会では、生ごみ資源化推進のため、生ごみ収集時に桶の中を確認し、収集量やプラスチックなどの異物の混入の有無について点数化を行い、点数の多い順に5位まで表彰しています。

【表彰内容】

各校区の1位区には、表彰および副賞を贈呈します。

- 1~5位...くすろーる
- 6位~15位...プラスチックごみ回収袋

分別した生ごみがエネルギーや肥料へ

皆さんが分別した生ごみは、バイオマスセンターでメタン発酵発電され、さらに「バイオ液肥みのるん」に生まれ変わります。みのるんで育った「つやおとめ」や「菜の花オイル」は、県の「ワンヘルス認証農産物」に認定されており、学校給食に使用されています。



順位	行政区	校区
1	三峰	南部
2	緑町	下庄
3	赤山	東部
4	北広田	大江
5	大塚	清水
6	小田西	水上
7	上楠田	二川
8	原団地	岩田
9	下小川西	南
10	北新開	開
11	海津	竹海
12	作出	本郷
13	江浦東	江浦
14	飯江	飯江
15	出口一	上庄

公共施設のCO2排出量10年で70%削減達成

市は、次世代を担う子どもたちに持続可能なまちを残すため、二酸化炭素の排出削減に努めています。皆さんの生ごみリサイクルなどへの積極的な協力のおかげで、2021年時点で48%削減されています。これは国の目標「2030年までに46%削減」を9年前倒しで達成している高水準です。2022年以降は、清掃センターのごみ焼却施設が廃止されたことで大きく削減され、現在は70%の削減を達成しています。市はさらに「2030年までに80%削減」を目標にかかげています。

